



どろんどろんアート

〈素材との出会い展～土と造形〉 造形スタジオの活動

天然の建築素材（壁など）として利用されてきた「土」はどこでも手にいれることができる素材です。しかも、泥のような液体から、粘土のようにやわらかいもの、焼きあげた陶器のように硬いものというように、さまざまな姿を持っています。造形スタジオでは、素材としての「土」から呼び起こされるイメージを大切にしながら、子どもたちが自然に造形活動が行えるようにプログラムを考えて、行っています。

昨年と今年の二回の夏休み特別期間に行われている「素材との出会い展～土と造形」の活動を紹介します。今年も、さまざまな「土」を使った、楽しいプログラムがいっぱいあります。

泥のような〈土〉

泥は液状なので、それ自体では〈形〉を作ることにはできません。しかし、布や紙、木などにしみこんで、布や紙などの組織を包み込む性質を持っています。



〈ドロドロイング〉(上)＝泥を使ってドロイング(絵を描く)プログラムです。紙の上に泥を薄く塗り、乾く前にとがったもので表面をひっかき、絵を描きます。泥を乾燥させて完成。地面に描いた絵のような、素朴な絵ができていきます。

〈クレイ・フラッグ〉(下)＝泥を使った一種の「ろうけつ染め」。布に泥で絵を描き、それを染めます。泥が繊維を包み込むので、泥の部分は生地そのまま染まりません。今回は小さな旗を作りました。



硬い〈土〉

土を乾燥させたり、焼いたり(焼成)すると「硬い」ものになります。日乾しレンガや陶磁器のようなもの。〈土〉という感じはしないかもしれませんが、これも〈土〉です。

〈クレイ・ストーン〉(左)＝生乾きの土の固まり(硬くなっているもの)を、つるつるの石やスプーンの背を使って磨き上げると、輝くようなツルツルの表面に変わります。これを、先のとがったものでひっかいて、絵(模様)を描きます。

〈ブロックであそぼう〉(下)＝素焼きの粘土ブロックの積木で、建物や街並みを作ります。粘土ブロックの一つひとつは、同じように見えても、それぞれ表情も違い、形も同一ではありません。素材の持つニュアンスを大切にブロックあそびをします。



粘土のような〈土〉

粘土も〈土〉の一つの形です。自由に形を変えられる、作ったものがそのままの形を保つことができる、ものの形を写し取ることができる、などの性質を持っています。子どもたちにとって、一番身近な〈土〉といえます。



〈テコボコ虫〉(左)＝形を写し取ることができる性質と自由に形を変えられる性質を利用したプログラム。いろいろなものの形を粘土に写し取り、それに手を加えて虫を作ります。

〈何にみえるかな? 石の形〉(下)＝テコボコ虫に似たプログラムですが、今度は包み込んで形を写し取ります。それに粘土を足したり引いたりして、石の形からイメージしたものを作り上げます。

〈リング・リング・リング〉(左下)＝自由に形を変えられることができる、作った形がそのまま保てるという性質を使って、円筒状のものを作ります。粘土の輪をたくさん作り、それを筒にはりつけ、輪と輪をつないでいきます。最後に筒を抜き取って完成。



読者の一枚

「ウーイ、楽しかったぞ。満足したぞ」
東京都荒川区西尾久 萩野直孝くん



「ピッカピカのすべり台。ボク、一番のり！」
東京都品川区上大崎 道添翔太郎くん

「だれかわかるかな？」
東京都台東区根岸 吉益紀子さん



☆あなたの写真をこの紙面に「こどもの城」で写された写真を「こどもの城」編集部にお寄せください。掲載分には記念品贈呈します。



平早 勉
世界の子どもたち ⑨
交通ラッシュの激しいタイムのパラドクス。横断する時はさよなら緊張です。

愛情品質



'93 FAMILIAR SUMMER VACATION

さあ、たのしい夏休み。
今年は、なにをしようかな?
勉強なんかわすれて、とにかくあそんじゃおう!
おもいっきりすてきな思い出をつくらうね。



(株)ファミリアの本店は神戸にあります。北海道から沖縄まで全国に約200の支店と百貨店コーナー サンフランシスコにもお店があります。フリーダイヤル ☎0120-078-345 神戸本社 お客様相談室

